

# 宇佐市民図書館 2005.06

## 郷土スペース月報

〒879-0453 大分県宇佐市上田1017-1 TEL.0978-33-4600 FAX.0978-33-4679  
<http://www.usa-public-library.jp/>

今月の表紙 宇佐市に寄贈された油絵「若桜時代に生きて」(深川善次氏画)のモデルとなった特攻隊員・堀之内久俊少尉(東大法学部在学中に学徒動員により海軍に入隊。撮影当時21歳)。出撃前の、最後の写真。昭和二十年四月、宇佐海軍航空隊にて。



- 目次
- ◆ 今月の表紙・油絵のモデルになった特攻隊員の遺影(宇佐航空隊で)
  - ◆ 「異郷の祖国」須崎勝弥 / 『カミカゼの真実』(光人社・2004)より
  - ◆ 龍膽・小野精一編「大分県人名辞典」本文編(37)
  - ◆ 新着郷土資料目録・平成十七(二〇〇五)年5月

4 2 1

### 「異郷の祖国」より

須崎勝弥

振袖人形を抱いた堀之内の遺影がある。プロペラの前か翼の上に立って悲壮美に包まれた姿だと、大いに報道価値があるだろう。しかし彼は垂直尾翼を背にして立っている。その表情は淋しい。こんな彼の顔は見たことがない。殺気もなければ鬼気もない。あるのはただ淋しさに包まれた死の決意だけだ。垂直尾翼に描かれた数字が棺桶の番号に見えてくる。意図的に誇張したわけではない。当時われわれは九七棺桶という又の名を日常的に口にしていた。

(中略)

死が十数時間後に迫ったその夜に、堀之内は初めて文字を書き遺した。酔いが醒めないまま葉半紙に鉛筆で書きなぐった。遺書は素朴で幼い。

「お父さん、お母さん、久俊は明日神様になります」

これをどう読むか。私は彼の絶叫を聞く思いがする。

『カミカゼの真実 特攻隊はテロではない。』(光人社・2004)より

# 龍膽・小野精一編 大分県人名辞典 本文編 (37)

遺族から宇佐市に寄託された自筆原稿より、本文を順次紹介しています。  
収録人名一覧は、No.7(2000.10)～No.14(2002.5)に連載しました。

## おおか

おおが・これもと 大神惟基  
(八一〜九〇二)

大野郡大神氏の祖。弘仁二年大野郡領庶幾の子に生る。仁明天皇の御代大番役を勤め、内裏の火災を鎮め承和七年従四位下左兵衛督に任ず。ついで天安二年豊後守に補せられ貞観三年従三位権大納言に叙せられ、豊後国五職検帯を賜わって下向し延喜二年歿す。年九十二、其子に三田井政次(高千穂太郎)、阿南惟季(四穂田次郎)、植田惟平(七郎太夫)、太郎栄基(八郎)、白杵惟盛(三重九郎太夫)の五子あり。後右大将頼朝の庶子、大友能直の豊後入国を阻んだのは此の大神一族であった。(大典・大分市史)

大神比義の子。諸男養老三年神託により日向征伐に赴き其子田磨弘仁中大官司となり爾来子々孫々大官司に任ずと。(大典)

厭魅をなす。所司を下し罪を勘し、行信を下野薬師寺に配し、従四位下大神朝臣毛理売を日向に配し多麻呂を多瀬島に配す云々とある。称徳天皇天正神護二年十月に無位大神朝臣田麻呂に外従五位下を受け、豊後員外椽になし、其子孫相統して速見郡領となり、大神を以つて其地に名つけた。「又曰毛理売を五位に任じ宇佐官司に任じ、本位に復し、毛理売の子孫はより継いで世々宇佐神官司となす」とある。

おおがしげかつ 大神鎮勝

其墓が大神郷北大神村報恩寺内にある。碑陰に曰く、大神朝臣兵部大輔鎮勝方に朝鮮の役に在り、自三百余騎を率い深く敵中に入り、力戦して死す。骸を彼の地に要す。時に年三十五。文禄二年家族が墳を造つて祭る。(豊後国志)

おおがのたまろ 大神田磨  
大神比義の子。諸男養老三年、神託により日向征伐に赴き其子田磨、弘仁中大官司となり、爾来、子々孫々大官司に任ずと。(大典)

おおがのたまろ 大神田麻呂

孝謙紀曰く天平勝宝六年薬師寺僧行信八幡宮神主多麻呂らと同意

おおがのひぎ 大神比義

を以て特に従五位下に直授すとある。又四、同五年、任満ちて去らんとするを百姓之を留めんと請う。尋て再任す。(豊後国志)

宇佐八幡御発現につき、欽明天皇二十九年同三十二年宇佐菱形池辺にて大神比義により瑞を現わし、比義によつて御発現になった。其後元明天皇和銅元年より鷹居の地に奇瑞を現わしたので和銅五年大神比義齋き祭つて鷹居に御鎮座になったとある(託宣集)其子孫栄え大神氏祝氏小山田氏となる。豊後国跡考に速見郡大神村は其比義の住んだ所として比義の館址を古殿と称している云々。

り、明国に往来し、貿易を営み不逞の財を積む。慶長五年、黒田長政の命を以つて博多に移住し、資を献じて築城を助く。剃髪して宗九と号す。明人の言に従い大神を大賀に改む。元和元年黒田長政其功を賞し、百六十余石の宋地を賜う。宗九辞して受けず、晩年吳昭町に隱棲し、愈々自適、風月を友とし、寛永七年、七十を以つて歿す。博多聖栖寺に葬る。信好の二男信房貞海運業にて名をなしている。

おおがのもりめ 大神杜女

宇佐八幡宮女禰宜。聖武帝大仏

猶、杜女赦に遭い、日向より還えりしが、宇佐にて初沢の池に身を投ぜしと伝えられ、菱形池の中に杜女社などある。然し杜女とは一人の名にあらずといひ伝う。(大典)

おおがよしおみ 大神良臣

豊後大神氏祖。三代実録の仁和二年に、外従五位下、行肥前介大神朝臣良臣を豊後介となす、とある。

海部郡押牟礼(鶴岡村)城主佐伯常の兄惟信の子にして甚四郎と称す。父惟信前豊中津に住居し、佐伯を改め本姓大神に復した信好永禄四年中津に生まる。早く父を喪い、家貧なりしが、憫憫にして胆略あ

然るに天平勝宝六年十一月に至

を豊後介に遷任す。政跡の会聞ある

バックナンバーは、  
郷土スペース(雑誌架)に  
ファイルしています。  
ご希望のかたには、  
中央カウンター(そうだん)で  
さしあげます。

## 新着郷土資料目録 平成17(2005)年【5月】

書名／人名／出版社／出版年(月)／請求記号／(備考)

- 大分県立図書館百年史／大分県立図書館／2005.2／A010オ／(寄贈・複本)
- 図書館学 86／西日本図書館学会／2005.3／A010ニ／(寄贈)
- JUNTO CLUB 第6号 2004 WINTER／西日本図書館学会大分県支部／2004／A010ニ／(寄贈)
- 司書課程年報 No.8 2005／別府大学・別府大学短期大学部司書課程／2005.3／A010ヘ'／(寄贈)
- 収蔵史料目録3 -2005.3-／大分県立先哲史料館／2005.3／A069オ／(寄贈)
- 秦氏が祭る神の国・その謎／そうだじゅん／国分寺:新風舎／2005／A175ソ／(寄贈)
- 筑紫の日向ノ宇佐耶馬台国／高橋ちえこ／国分寺:新風舎／2003／A203タ／(寄贈・複本)
- 安心院縄文 第16集／安心院縄文会／2005.4／A215ア'／(寄贈)
- 別府八湯 温泉本／別府市旅館ホテル組合連合会／おおいたインフォメーションハウス／2005.3／A293.6オ／(購入)
- 大宰府領の研究／正木喜三郎／1991／A299.1マ'／(保管転換)
- 県有地売払情報 平成16年度版／大分県／2005／A344オ'／(寄贈)
- 大分県統計年鑑 平成16年版／大分県／2005.3／A350オ'／(寄贈)
- 賀来飛霞展／第13回国民文化祭安心院町実行委員会／安心院町教育委員会／1999.2／A499ア'／(寄贈)
- 1% あなたはその中にいますか／財津昌樹／光村印刷／2003.11／A519サ'／(寄贈)
- 建築士大分 2005.4 NO.93 春季号／大分県建築士会／2005.3／A520オ'／(寄贈)
- 大分の食便り／高橋陽子／おおいたインフォメーションハウス／2005.4／A596オ'／(購入)
- 大分・別府のおひるごはん／おおいたインフォメーションハウス／2005／A596オ'／(購入)
- 賀来飛霞関係資料調査報告書／安心院町教育委員会／1986.3／A728オ'／(寄贈)
- 賀来飛霞関係資料調査報告書Ⅱ／安心院町教育委員会／1996.3／A728オ'／(寄贈)
- 大分県美術展の歩み OG賞を中心に／大分県立芸術会館／2005.4／A728オ'／(寄贈)
- 佐藤義美／佐藤義美生誕100年記念事業実行委員会／佐藤義美記念館／2005.2／A910サ'／(寄贈)
- 大分県詩集 2005年版／大分県詩人協会／2005.3／A911.5オ'／(寄贈)
- ゆきえ／高橋ちえこ／鹿児島:高城書房／1998.3／A913タ'／(寄贈)
- 宇佐海軍航空隊始末記／今戸公德／光人社／2005／A916イ'／(寄贈・複本)

### 【点字資料】

- 三浦晋梅園の世界①～⑤／狭間久／大分合同新聞社／1991.11／TA111ハ'／(寄贈)